研究テーマ 国債蓄積を伴った経済成長理論のマクロ経済学的分析

所属 富山大学経済学部

講師　本山卓実

研究分野	マクロ経済学
キーワード	内生成長　国債　世代重複モデル

研究室URL：

研究の背景および目的

経済成長を促進させるためには、技術革新・教育推進・インフラ整備などがあり、これらは政府による補助的な政策によって保管される。その際重要となってくるのが財源の問題であるが、通常は税で賄われる（均衡財政）の設定を緩めて、国債発行による財源調達も可能としたとき、どのような経済的な示唆が得られるかについて分析している。



■主な研究内容

世代重複モデルと呼ばれるモデルを用いて、公的教育の供給や研究開発投資に関して、国債での財源調達も許可した場合に、
（1）そもそもそのような財政は破綻（いつか国債を発行しても誰も買えなくなるのではないか）するのかどうか
（2）均衡財政時と比較して、経済成長率や厚生どのような違いが生じるのか
などについて、理論的な分析を行っている。

期待される効果・応用分野

・現在ではほとんどすべての国で国債発行はありふれている。その意味で財源調達手段として国債を考慮に入れることは各国のポリシーメーカーにとって重要であり、そのようなときに本研究の示唆が有用となりうる。
・特に日本は債務/GDP比率が2をはるかに超えて断トツであり、そのような場合に追加の国債発行が認められるかどうかというのは重要な問題である。

■共同研究・特許など

富山大学研究者プロファイルPure URL：
https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/takumi-motoyama/